

# C言語プログラミングによる「工業英語」教材の作成

高橋 康造\*・清野 大樹\*\*・高橋 哲徳\*\*\*

## Programming Teaching Materials for Industrial-technical English by C-Language

Kozo TAKAHASHI\*, Daiju SEINO\*\* and Tetsunori TAKAHASHI\*\*\*

### Abstract

At present CD-ROM based teaching materials for English in general are available, but those for industrial-technical English are not. We prepare computer-based teaching materials for those who are studying it. The materials are programmed by C-language, so that students can learn this kind of English in the interactive way, i. e. not passively but by solving problems, and by looking into various things, such as grammatical items, vocabulary-related items, etc., for themselves.

**Keywords:** technical writing in English, C language, teaching material

### はじめに

工業英語関連の視聴覚教材は、我々の知る限り皆無であり、とりわけ文部省認定の「工業英検」受験により資格の習得を目指しているものにとっては、問題集を多くこなすことが要求されるが、その作業はほとんどの学習者にとっては無味乾燥なものに思われるであろう。我々の目指している教材はパソコンを媒体にした、また学習者の視覚に訴えかけるものであるだけでなく、学習者が何らかの問題でつまづいたときに、容易に関連項目を参照できるようにし、また知識をある程度体系的に体得することのできるようにするものでもある。つまり学習意欲がそがれないように、また次々と問題を解決していくことの喜びを持続させることができるような教材を作成することをめざした。とりわけ学習者が解答で不正解になった場合に、即座に語

彙、熟語、慣用表現、文法、英文解釈上の要点といった項目をすぐに参照できるように、ヒントをできる限り充実させることを目指した。

教材はすべて過去に出題された工業英検3級問題から取材し、すべてデータベースにアクセスすることで出題するようにした。また学習者の回答や成績に関するデータはすべてデータベースに取り込み、学習者の学習状況や到達度などが即座に確認できるようにした。なおプログラミングはインプライズ社のC++Builder (Vers. 5) を用い、データベースの形式はパラドックス (Vers. 7) とした。

### I. プログラムの操作手順

操作はことさらに説明を付さなくとも進行できるようにし、比較的短時間で回答できて、結果が即座にわかるように心がけた。

次ページの図1にあるメニューはほぼ工業英検の問題種にのっとったもので、語彙、英語の定義に関する選択問題、穴埋め問題、長文問題、作文に関する問題を選ぶことができる。

平成 12 年 10 月 13 日受理

\* 総合教育センター・助教授

\*\* システム情報工学科・教授

\*\*\* 総合教育センター・講師